

みずほCustomer Desk Report 2016/07/04 号(As of 2016/07/01)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD	公示値	102.95
TKY 9:00AM	103.10	1.1103	114.44	0.9764	1.3332	0.7446		
SYD-NY High	103.40	1.1170	114.66	0.9782	1.3350	0.7504		
SYD-NY Low	102.44	1.1072	113.71	0.9711	1.3244	0.7436		
NY 5:00 PM	102.55	1.1143	114.28	0.9729	1.3275	0.7495		
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	13.06/13.575		△25RR		1.333		Yen Call Over	
NY DOW	17,949.37	19.38						
NASDAQ	4,862.57	19.90						
S&P	2,102.95	4.09						
日経平均	15,682.48	106.56						
TOPIX	1,254.44	8.62						
シカゴ日経先物	15,630	▲190.00						
ロンドンFT	6,577.83	73.50						
DAX	9,776.12	96.03						
ハンセン指数	-	-						
上海総合	2,932.48	2.87						
USDJPY 3M Vol	12.23	▲0.18%						
USDJPY 6M Vol	11.79	▲0.15%						
EURJPY 3M Vol	13.15	▲0.23%						
EURJPY 6M Vol	13.00	▲0.12%						

債券市場	日本2年債	-0.3280	▲3.3bp
	日本10年債	-0.2530	▲3.6bp
	米国2年債	0.5893	0.8bp
	米国5年債	0.9946	▲0.5bp
	米国10年債	1.4441	▲2.6bp
	独10年債	-0.1260	0.4bp
	英10年債	0.8630	▲0.4bp
	豪10年債	1.9540	▲2.7bp
	為替市況	USD/CNH	0.0026
		ドルインデックス	95.65 ▲0.49

商品市況	CRB指数	194.260	1.69
	NY金	1,339.000	18.40
	WTI	48.990	0.66
	Dubai Spot	44.85	▲1.98

東京 前日のリスク回避姿勢後退の流れを引き継ぎ、ドル円はグローバル時間に103.40の高値まで上昇。東京時間オープン前には、本邦5月コアCPIが前年比+0.6%と前回(+0.7%)よりも伸びが鈍化していることや、日銀短観で大企業製造業の業況判断DIは前回3月調査と横ばいであったものの大企業非製造業の業況判断DIは前回調査から悪化していたことが伝わる。しかし、CPIの結果は次回日銀金融政策決定会合での緩和観測を高めるほどのものではないとの見方や、今回発表された日銀短観は6月24日の英國国民投票実施前にほぼ回収されており英国のEU離脱リスクを織り込めていない調査との見方が出て、いずれも相場への影響は限定的となった。かかる中、ドル円は103.10レベルで東京時間オープン。しかし、高寄りした日経平均株価が上げ幅を縮小させる動きとなると、103円を割り込み、102円台後半で推移。さらに、発表された中国6月財新・製造業PMIが48.6と予想(49.2)以上に悪化していたことも相場の重石となり、ドル円の上値は抑えられた。午後に入ると102.67まで下落し、結局102.71レベルで海外に渡った。(東京15:30)

ロンドン ロンドン市場のドル円は、102.71レベルでオープン。米10年債利回りが過去最低を更新して低下する中、102.44円まで下落。その後は、特段の材料なく、102円台半ばで推移し、結局102.63レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1080レベルでオープン。ECBに近い複数の関係者らが、ECB債券買入れプログラムについて、各国のECBへの出資割合(キャピタル・キー)に応じて買い入れる現行規制の撤廃は検討していないと指摘したこと、QE拡大観測が遠のきユーロは堅調推移。その後、ヨーロッパ財務相が英離脱に際し、協調行動が必要と発言したこと、一段と買われ、1.1139まで上昇し、1.1120レベルでNYに渡った。(ロンドントリー 00531 444 179 山本)

ニューヨーク ドル円は102.63レベルでNYオープン。朝方は米金利が軟調に推移する動きに、ドル円は102.50まで下押しする。しかし、発表された米6月ISM製造業景況指数が新規受注、雇用、輸出入の伸びを背景に予想を上回ったことで、102.72まで上昇。その後は米独立記念日(7/4)を前に休場に入る市場参加者も多く、閑散な取引となる中、ドル円は102.50を挟んだレンジ推移となる。結局、ドル円は102.55レベルでクローズした。一方、ユーロドルは、1.1120レベルでNYオープン。朝方はECB関係筋の報道を受けた海外市場の流れが継続し、1.1170まで上昇。しかし、その後は米ISM製造業景況指数の結果を受けたドル買の流れに1.1113まで反落する。午後は、連休を控え、方向感の無い推移が続き、1.1143レベルでクローズした。(NY 00531 113 682井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧説を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:高田・坂本

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
7月1日	8:30	日 全国CPI/コアCPI/コアコアCPI(前年比)	5月 -0.4%/-0.4%/0.6%	-0.5%/-0.4%/0.6%
	8:50	日 日銀短観:大企業製造業/非製造業	第2Q 6/19	4/19
	10:00	中 製造業PMI/非製造業PMI	6月 50.0/53.7	50.0/-
	10:45	中 財新・製造業PMI	6月 48.6	49.2
	17:00	欧 製造業PMI・確報値	6月 52.8	52.6
	18:00	欧 失業率	5月 10.1%	10.1%
	22:45	米 製造業PMI・確報値	6月 51.3	51.2
	23:00	米 ISM製造業景況指数	6月 53.2	51.3
	23:00	米 建設支出(前月比)	5月 -0.8%	0.6%

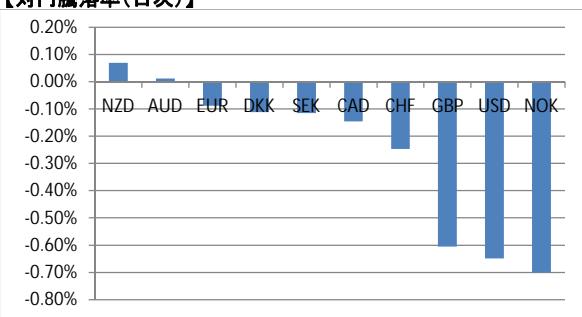
【本日の予定】

Date	Event	予想	前回
7月4日	10:30 豪住宅建設許可件数(前月比/前年比) 米独立記念日	5月 -3.5%/-6.4%	3.0%/0.7%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	102.10-103.10	1.1100-1.1150	113.50-114.50

【マーケット・インプレッション】

先週金曜日の海外時間のドル円は軟調推移。FRBが年内ハト派的なスタンスを維持するとの思惑を背景に米債利回りが大きく下落したことを受けてドル円も102円台前半まで値を下げた。本日の東京時間については特段注目材料もなく、またNY休場ということもありドル円は動意に乏しい展開であろう。株式相場の動向に連れて上下することもあり得ようが、テーマが再び米金融政策に戻る中、今週末の米6月雇用統計までは方向感は出難いであろう。